

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

深谷市
イメージキャラクター
ふっかちゃん
登場!



寄せ植え体験、^{せんでい}剪定教室、お茶会、王国体験スタンプラリー、パトカー展示、消防車展示、コンテストの作品展示、飲食物の販売、花の販売、木工工芸品の販売、ステージイベントなどを予定しています。



100種類を超える梅の競演

3月2日(土)
午前10時～午後3時
(雨天決行)

※施設内の駐車場は利用できませんので、下記の臨時駐車場をご利用ください(障害者用駐車場は施設内正門側にあります)。

臨時駐車場:花植木流通センター(隣接)、榎引西部自治会館(徒歩2分)、JAふかや榎挽プラザ(徒歩12分)

第16回
ふかや緑の王国
梅まつり



4月27日(土)・
28日(日)

第21回
ふかや花フェスタ

参加者募集!

会場:秩父鉄道ふかや花園駅前緑地広場、深谷テラスパーク

1 ガーデニングコンテスト作品 申し込み 4月12日(金)まで

- ①コンテナガーデン部門 (50作品) 縦横70cm以内、高さ自由、切り花以外で制作
- ②ハンギングバスケット部門 (50作品) 縦横70cm以内の壁掛けタイプ、切り花以外で制作、作品の背景などの装飾不可
- ③オリジナル箱庭部門 (30作品) 主催者が用意する縦横52cmの箱を使用、高さは自由

2 ステージイベント出演者 申し込み 2月27日(火)まで

- ①フラダンス部門
- ②キッズダンス部門
- ③その他部門 ※応募者多数の場合は抽選

3 販売出店者 申し込み 2月14日(水)午前10時～20日(火)午後5時 電話または直接深谷テラスパーク(☎579-2022)へ

出店場所 キッチンカー出店、テント出店(4m×4m区画以内)、花植木販売…深谷テラスパーク円形広場
募集店舗数 キッチンカー出店9店舗、テント出店10店舗、花植木販売8店舗 ※応募多数の場合は抽選
出店料 キッチンカー出店 8,000円、テント出店(飲食販売 8,000円、その他食品販売・物品販売 6,000円)、花植木販売 6,000円
詳しくは、出店者募集要項をご覧ください。※2月1日(水)午前10時から深谷テラスパーク管理棟にて配布

【1・2】詳しくは、各募集要項(市役所・公民館・ホームページで入手可能)をご覧ください。
【3】申し込みなど、詳しくは、深谷テラスパーク(☎579-2022)までお問い合わせください。

王国自然クラブメンバー募集

対象 市内の小学校3年生～6年生(令和6年4月現在)
とき 1年間(原則:毎月第1日曜日午前9時～正午)
ところ ふかや緑の王国 定員 20人(応募者多数の場合は抽選) ※抽選日3月10日(日)午前10時～
申し込み 2月17日(土)～25日(日)
参加希望者説明会 2月17日(土)午後2時～
詳しくは、ふかや緑の王国のホームページをご覧ください。



王国自然クラブサポーター募集

王国自然クラブの子どもたちと毎月一緒に活動するサポーターを募集します。主な活動は、四季を通じて『学び』『遊び』『挑戦』をしていく中で、子どもたちだけではできない部分のサポートです。
詳しくは、ふかや緑の王国へお問い合わせください。



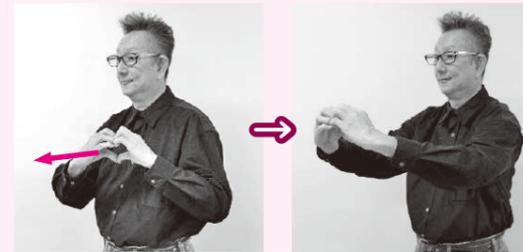
手話 de おはなし



手話に興味はあるけど難しそう…。そんなかたも、身近なあいさつからチャレンジしてみよう!

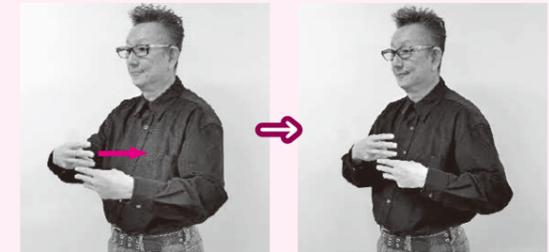
(手話協力 深谷市聴覚障害福祉協会)

バレンタインデー



両手の5指でハートの形を作り、左胸の前から前へ出す。

ひな祭り



両手の人差し指、中指、薬指の3指を上下につけて手前に引く。

園障害福祉課 (☎ 571 - 1011 ☎ 574 - 6667)

新紙幣
あれこれ

津田梅子の生涯

新五千円札の肖像となるのは津田梅子です。江戸の牛込南御徒町、現在の新宿区南町に生まれた津田梅子は、北海道開拓使が募集した女子留学生のひとりとして、1871年に岩倉遣外使節団とともに渡米し、アメリカにて初等・中等教育を受け成長しました。渡米時の年齢は6歳で、1882年、17歳で帰国しました。

帰国後、国費で留学したにもかかわらず、重要な仕事を与えられないだけでなく、日本社会における女性のあり方そのものにも落胆しました。当時の日本社会は女性に教養を求めておらず、女性自身も地位を向上させようとは思っていなかったようです。母国の女性のために力を尽くしたいという強い使命感と、向上心を持っていた津田梅子は、より高度で専門的な教育を受けるために、アメリカへの再留学を決意しました。

留学時に書いた論文は、イギリスの学術誌に収録され、女性も質の高い教育を受け、学ぶ機会を得られれば、才能を伸ばし、男性と対等な実力を身に付けられる」ということを津田梅子自身が証明しました。

その後、ほかの日本女性たちが高等教育を受ける機会を得られるよう、『日本婦人米國奨学金制度』、『女子英学塾(現在の津田塾大学)』をつくり、『日本女性の真の自立』のために力を尽くしました。

津田梅子は、女性活躍の面で日本の近代化をリードし、長い時を経た現在でも女子高等教育の先駆者として名を残しています。



津田塾大学津田梅子資料室所蔵